

既存試料使用に関する配慮に関して

2015年1月31日

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科

祖父江 元

対象研究名：「末梢神経生検・皮膚生検における臨床症候と神経線維の脱落の選択性との相関およびその病態に関する研究」

本研究の実施にあたり、既存の検体を新たな同意取得なしで使用します。その際、以下の様に情報を公開します。

① 当該研究の意義、目的、方法

末梢神経障害（ニューロパチー）は炎症/自己免疫性・膠原病性、腫瘍性・薬剤性・中毒性・代謝/栄養性・感染性・遺伝性などの様々な要因で生ずることが知られています。原因疾患の診断により病態に即した治療が可能となる場合が多く、早期の正確な診断が重要です。神経生検は、病理学的に血管炎やアミロイドの存在を直接証明できるだけでなく、脱髄や軸索変性の有無や程度、障害される神経線維（大径有髄線維・小径有髄線維・無髄線維など）の選択性などから原因疾患を推定することが可能であり、末梢神経障害の診断において有用な検査です。病理学的には末梢神経障害はおおまかに脱髄型ニューロパチーと軸索変性型ニューロパチーに分類されることは知られていますが、特に後者は様々な疾患に伴って生じるため、診断にあたっては、病理所見だけでなく、臨床症候や血清学的・電気生理学的検査所見などから総合的に判断する必要があります。今回、我々は末梢神経生検における臨床症候と病理所見との相関について検討し、神経線維の障害の選択性と各種疾患との関係について明らかにすることにより、ニューロパチーの早期診断・早期治療につなげたいと考えています。

本研究を実施するにあたって、本研究開始以前にニューロパチーの診断のための神経生検を行った患者さんの、生検時に採取された検体を一部用いる予定です。対象となる患者は、2000年4月1日から本研究開始までの方です。

対象者の選択基準

ニューロパチーが疑われ、診断のために神経生検を施行し、確定診断された患者

利用する検体（情報）

以下のものを利用いたします。

- ・末梢神経：診断時に採取され、保存しているもの

- ・臨床情報：年齢、性別、病歴、神経学的所見、検査結果（採血、神経伝導検査）

① 研究機関名

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科

③保有する個人情報に関して、お問い合わせいただくための手段について

本研究で保有する個人情報に関して、問い合わせが可能なように、本研究に関する内容、実施者、問い合わせ方法、問い合わせ先、について名古屋大学医学部ホームページ内に掲載致します。

個人情報に関する問い合わせや個人情報の訂正、利用停止、第三者への提供の停止を求められた場合には、被験者本人、または代理人であることを確認し、速やかに対応をします。

④個人情報の開示、個人情報の利用目的の問い合わせについて

本研究で保有する個人情報に関して、被験者及びその代理人は、個人情報の開示請求や、その利用目的を知ることができます。ただし、第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害する恐れがある場合や、当該研究にかかる研究者等の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼす恐れがあるとき、他の法令に違反することとなる場合などは例外となります。上記理由にて、個人情報の開示依頼をお断りする際には、その理由を速やかにお伝えいたします。

⑤保有する個人情報に関して、問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

問い合わせ先：

名古屋大学医学部神経内科 医局 052-744-2391

同 総務課 052-744-1901

以上